

科目名	基礎演習(4) (学科/商)		
担当教員	得重 仁（トクシゲ ヒトシ）	単位数	4単位
開講期間	春学期/秋学期	授業形態	演習
使用言語	日本語	開講学年	1年次のみ
開講学科・カリキュラムコード※	商SS1		
資格科目			
授業概要	コンピュータとネットワークにより様々な情報サービスを受けることができる高度情報化社会では、利用者にはコンピュータとネットワークを高度にかつ安全に利用する技術が必要である。大学も高度情報化社会を形成する一組織であり、大学で学ぶ上で必要となる情報の検索・分析・表現に於いて、コンピュータとネットワークの活用は必要不可欠である。本講義では、アンケート調査の実施を通して、コンピュータとネットワークを活用する技術の修得を行う。具体的には、アンケートの企画、企画プレゼンテーション、アンケートの実施、収集したデータの集計と分析、結果報告のプレゼンテーションという調査の一連の流れすべてを電子的に行う。また、技術の修得に必要なコンピュータとネットワークの仕組み等についての紹介も行う。		
到達目標	収集した情報を基にして、自分の考えを発表できるようになる。 プレゼンテーションにより、自身の考えを説明できるようになる。また、人のプレゼンテーションに対して、意見や感想を述べられるようになる。 情報処理技術の修得を通して、大学で学修する上で必要となる総合的な技術をも修得し、活用できるようになる。		

カリキュラム学科 2025年度 春学期 学部 商学部 商

商学科DP		関与度
1	企業をはじめとする組織の諸活動について、その活動の運営・管理や維持・発展について考察するために必要となる知識や理論を習得している。	
2	企業をはじめとする組織の諸活動について、その社会的貢献や責任、歴史や環境等と関連づけて理解したり、文化的多様性の存在を理解したりする能力を身につけている。	
3	柔軟な適応力や総合的な判断力、確かな実践力を身につけ、高いコミュニケーション能力を有して他者と協働することができる。	◎
4	企業をはじめとする組織の諸活動について、問題を発見し、その解決に必要な多様な情報を収集・分析することができる。さらに、一定の根拠に基づき、複眼的・論理的に思考することによって、説得力のある分析や解決策を提案できる。	○
5	知的好奇心、協調性やリーダーシップ、自己管理能力などを兼ね備え、生涯を通じて自律的に学び続けることができる。	△

授業内容	
第1回	ガイダンス：講義概要の説明
第2回	コンピュータとネットワークの仕組み
第3回	情報サービスの活用：情報検索方法，ネットワークストレージ等の使用方法
第4回	図書館ガイダンス：図書館での情報収集法
第5回	レポートの作成に必要なワードプロセッサの活用技術
第6回	レポートの作成に必要な表計算ソフトウェアの活用技術
第7回	レポートの作成
第8回	レポートの作成：相互レビュー
第9回	アンケート調査の概要
第10回	アンケート調査の企画
第11回	アンケート調査の企画書の作成
第12回	アンケート調査の企画プレゼンテーション(1)：スライドの作成

第13回	アンケート調査の企画プレゼンテーション(2)：発表
第14回	アンケート調査の企画の見直し
第15回	アンケート調査の企画書の見直し
第16回	情報サービスを用いた調査票の作成(1)：基本操作
第17回	情報サービスを用いた調査票の作成(2)：質問項目の作成
第18回	情報サービスを用いた調査票の作成(3)：データシートへの集計
第19回	情報サービスを用いた調査票の作成(4)：テスト
第20回	アンケートの実施
第21回	表計算ソフトウェアによるデータの集計(1)：データの編集
第22回	表計算ソフトウェアによるデータの集計(2)：データの集計，グラフ化
第23回	表計算ソフトウェアによるデータの集計(3)：データの集計，グラフ化
第24回	表計算ソフトウェアによるデータの集計(4)：データの分析
第25回	プレゼンテーションツールによるスライドの作成(1)：基本操作
第26回	プレゼンテーションツールによるスライドの作成(2)：基本事項の作成
第27回	プレゼンテーションツールによるスライドの作成(3)：データの入力
第28回	プレゼンテーションツールによるスライドの作成(4)：発表練習
第29回	アンケートの結果報告プレゼンテーション
第30回	まとめ：アンケート調査の自己評価
事前事後学修(具体的な内容及び必要な時間)	講義内で事前学習の内容を指示するので，講義前にその内容を実施しておくこと．講義内で復習のためのレポートや課題を提示するので，指定の期日までに提出すること．事前・事後学習には，それぞれ2時間程度の時間が必要となる．
試験や課題に対するフィードバック方法	レポートや課題等はチェックし，コメントの提供等のフィードバックを行う．
アクティブ・ラーニング	PBL（課題解決型学修）／プレゼンテーション／グループワーク
実務経験を生かした具体的な授業内容	
学修支援システムLMS（manaba）の活用	manabaでのレポートの回収／manabaに講義資料・コンテンツの公開／その他manabaの機能の活用
受講上の注意点	
教科書	使用しない
参考文献	
成績評価方法	
評価割合	
A.定期試験	0%
B.レポート	0%
C.小テスト	0%
D.発表(プレゼンテーション等)	20%
E.平常点・授業への貢献度	30%
F.その他	50%
成績評価についての補足	10回目以降にグループワークとして行うアンケート調査を対象とする．

担当教員との連絡方法	manabaの個別指導コレクション／大学アカウントのEメール（@kumagakuのアドレス）／その他
連絡方法（その他）	Google Chat
添付ファイル	

※カリキュラムコードは、各学科の群（分野）、必修か選択、開設学年を示しています。詳細は履修登録ガイドを参照してください。